

平成 29 年 8 月 23 日

横浜市長 林 文子 様

横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会  
委員長 豊田 宗裕

### 横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定結果報告書

横浜市福祉保健研修交流センターの指定管理者選定にあたり、応募団体から提出された申請書類の審査及び面接審査を行いました。

このたび、審査が終了し、指定管理者の候補者を選定しましたので、選定結果を報告します。

#### 1 横浜市福祉保健研修交流センター指定管理者選定評価委員会

委員長 豊田 宗裕	聖徳大学心理・福祉学部 教授
委員 家田 満男	社会福祉法人偕恵園 障害者支援施設偕恵 施設長
大場 エミ	鶴見大学 非常勤講師
木村 喬	公認会計士
小林 進	公益社団法人横浜市福祉事業経営者会 理事
山中 あけみ	社会福祉法人あらぐさ会 新杉田のびのび保育園 園長

#### 2 選定経過

項目	日程
第 1 回選定評価委員会（公募要項の検討等）	平成 29 年 5 月 8 日（月）
公募期間	平成 29 年 5 月 22 日（月）から 平成 29 年 7 月 14 日（金）まで
現地見学会及び応募説明会	平成 29 年 6 月 6 日（火）
公募要項に関する質問受付	平成 29 年 6 月 6 日（火）から 平成 29 年 6 月 12 日（月）まで
応募書類の受付	平成 29 年 7 月 12 日（水）から 平成 29 年 7 月 14 日（金）まで
第 2 回選定評価委員会（面接審査、指定候補者の選定）	平成 29 年 8 月 23 日（水）

#### 3 審査結果

横浜市福祉保健研修交流センター

応募があった 1 団体について、選定評価委員会において審査を行った結果、指定候補者を次のとおり選定しました。

##### (1) 指定候補者

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 （910 点／満点 1,200 点）（最低基準 720 点）

(2) 次点候補者

応募団体が1団体のため該当なし

(3) 評価基準項目別の評価結果について

別紙のとおり

(4) 審査講評

評価が高かった項目としては、応募理由、基本方針、指定管理料が挙げられる。応募理由が明確で社協としての実績から考え方もしっかりしており評価が高かった。指定管理料も効果的に使われており、今後も引き続き取組を期待したい。課題としては、防災に対する取組は区と調整を図り、発災時に適切に運用できるよう努めること、稼働率向上について、具体的取組と目標を明確にすること、広報・利用促進の取組について、全体的なプロモーションの観点を持ち、筋道を立てて進めることが挙げられる。また、人材育成事業については、現状の課題を正確に把握し、新しいことを目指して取り組んでほしい。特に、少子化に視点を当てて子ども関係、保健分野の取組を充実させることを期待したい。

横浜市福祉保健研修交流センター評価結果

項目	配点	満点	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会						
			合計 評価点	内訳					
				A委員	B委員	C委員	D委員	E委員	F委員
1 団体の状況 (1)団体の理念・基本方針・事業実績等 (2)財務状況 (3)応募理由	30	180	150	28	18	24	24	26	30
2 基本方針 (1)福祉保健人材養成等の基本的な考え方	20	120	100	20	16	16	16	16	16
3 職員配置・育成 (1)職員の確保・配置及び育成	10	60	42	10	6	6	6	6	8
4 施設の管理運営 (1)施設・設備の管理・維持保全及び小破 修繕の実施 (2)事件・事故防止体制・緊急時(防犯)の 対応 (3)防災に対する取組み (4)施設の適切な利用許可 (5)施設・設備の提供(研修室、実習室、和 室) (6)広報・利用促進計画 (7)利用者のニーズ・要望・苦情への対応 (8)個人情報保護・情報公開、人権尊重、 環境への配慮、市内中小企業優先発注な ど、本市の重要施策を踏まえた取組み	50	300	221	46	28	36	32	34	45
5 事業の企画・実施 (1)事業計画・事業展開 (2)その他(関係機関との連携等)	70	420	304	56	44	38	48	56	62
6 収支計画及び指定管理料 (1)指定管理料及び施設の課題等に応じた 費用配分 (2)利用料金の適正性 (3)利用料金等収入増の取組み及び効率 的な運営	20	120	93	19	13	16	14	15	16
合計	200	1200	910	179	125	136	140	153	177